

Anne Frank Meet and Learn 巡回パネル展報告

佐賀市立循誘小学校
2016年12月14日～16日

本巡回展は、約400名の参加者を得て、盛会でした。戦争について学びたい12月に、本企画ができてよかったです。関係の皆様、ありがとうございました。お世話になりました。

本校の子どもたちは、12月14日と15日の昼休みに、パネル、DVDムービー、隠れていた家の模型を手立てとして、アンネフランクと出会い、彼女の生きた時代を学習しました。1～4年生の参加は自由でしたが、ほぼ全員が足を運んだとみられます。特に5～6年生は感想を書き、学びを深めることができました。会場の体育館から図書館へと誘導し、伝記やアンネの日記を紹介しました。逆に、図書館でもコーナーを作り、パネル展を話題にするなど、連携することができました。

16日はPTA懇談会があり、関心のある方や、一緒に学びたいと考えた保護者と子どもたちが、約50名も体育館に来られました。学童保育の子どもたちも、もう一度と言いながら見ていました。



6年生が、本校のリーダーとして準備を行い、素晴らしい会場を作ることができました。



14日が雨で、15日が寒く、参加しやすかったよう。給食時に「アンネに会いに来て」と放送。

アンネの一生についての 感想

ヒトラーが政権をとった事でユダヤ人に与える弾圧政策が始まってアンネ・フランクの命もなくなりましたからヒトラーは嫌いなあつて思いました。アンネ・フランクは元々裕福な家庭で生まれたのに人生でこんな不幸い事があるなんて思いたしなかつたと思ひます。アンネ・フランクが日記の中長に書いた言葉は私達の心にもつきさるような言葉でした。

大型パネルや展示会、かかれていた家の模型作についての 感想

大型パネルは思ったより大きくて、英語でも書いてあったのでわかりました。図書委員さんか作ってくれた隠れ家は、最初見た時の模型のようだったけれど、今回の展示会が来て何の不安もなくなりかかれていたのです。今日は貴重な物を見られたので、たい勉強になりました。



準備や片付けのお手伝いありがとうございました。新築小の子どものために、教師がパネルを取り寄せたのですが、結果的に、子ども達が自分で開いたパネル展のようでした。

アンネの一生についての 感想

同じ人間なのにユダヤ人狩りなんて何百万人もの人を殺すなんてアンネ達（ユダヤ人）がかわいそうです。家族とはなれず、収容所で荷物の確認ばかりでいらい、ほんとの人が、命をおとしていく。アンネはそんなおそろしい人生を日記に記して二度このようなことがないように人が知らせてくれたのではないかと感じます。

大型パネルや展示会、かかれていた家の模型作についての 感想

私は委員会がアンネ・フランクが住んでいた隠れ家をつくりました。つくっていて気がついたのは、ドアが多いことはいつて逃げられようとしたのかなと思ひました。パネルは、アンネの写真などがあつてその年、どんなことかあつたのとでも分かりました。今まで知らなかつたことがあつて勉強になりました。



準備や片付けのお手伝いありがとうございました。新築小の子どものために、教師がパネルを取り寄せたのですが、結果的に、子ども達が自分で開いたパネル展のようでした。

アンネの一生についての 感想

子どものころから、大人の人たちにはばいされているのが悲しくて、かわいそうだと思ひました。日記のかきかたも2種類あつて、スラスラと書いたかきかたも、ブロックみたいなかきかたもあり、どんな意味があるのだろうと思ひました。「作家」という夢を持っているけど、こまかいこともかいてあつました。

大型パネルや展示会、かかれていた家の模型作についての 感想

アンネや他の人などもかかれていた家の模型を見てみると、どこにあるのだろうと思ひていると、1年生が集まってきたので、ごちゃごちゃしていたので、テレビと本を見て、クラスにかえて、いけなかつた友達に色々、おしえました。



準備や片付けのお手伝いありがとうございました。新築小の子どものために、教師がパネルを取り寄せたのですが、結果的に、子ども達が自分で開いたパネル展のようでした。

アンネの一生についての 感想

13歳でとくなくなつてしまふなんて、とても短い人生だったんだらうなと思ひました。また、アンネ・フランクのように20歳になつていない子供や女性などのユダヤ人全員が罪もないのに殺されてゆくのは、とてもひどいなと思ひました。黒人や白人などの、人による差別は、見た目がちがうだけで内側は同じだから、勝手に差別をしてはいけないなと思ひました。

大型パネルや展示会、かかれていた家の模型作についての 感想

大型パネルで、実際に写真を見てみると、とてもはかがあつたなと思ひました。また、大きな文字や写真は見やすかつたので、よりアンネ・フランクの事について、身近に感じる事ができました。かかれていた家の模型を見て当時の水取れた家の構図や仕組みが分かりました。



準備や片付けのお手伝いありがとうございました。新築小の子どものために、教師がパネルを取り寄せたのですが、結果的に、子ども達が自分で開いたパネル展のようでした。

アンネの一生についての 感想

いきなりアンネが生まれた時に、世界きょうが広がつていたので、アンネが悲しい道をたどつて前兆にもつたので、はなれたと思ひました。1939年にユダヤ人の迫害が本格的に初め、自分は、同じ人間という種類なのに、なぜ殺してゆくのかと思ひました。1つは本で入るさうなところ、ガスとゲンの毒が、あつたという見かけで殺される人々は、自分達りにかかれば、それは仕方ない、リサーチをせよ、と殺さなければならぬ。オットー・フランクが生きてこの悲しい事件をアタマでかかっていた。

大型パネルや展示会、かかれていた家の模型作についての 感想

かくれ家だけだと思ひ、ていたより広いと思ひました。あんなに大きな大型パネルを、あんなに長時間見ると、とても幸せでした。アンネがかかれていた家は広くて、安心に見えるけど、足音が大きい音が、出てはいいかなという感じが、とても勉強になりました。



準備や片付けのお手伝いありがとうございました。新築小の子どものために、教師がパネルを取り寄せたのですが、結果的に、子ども達が自分で開いたパネル展のようでした。

アンネの一生についての 感想

かかれ、家の中が、あつて、いる人たちが、死んでゆくのが、とてもかわいそうなと思ひました。もう一度、このことがあつたらうなと思ひました。

大型パネルや展示会、かかれていた家の模型作についての 感想

人を差別することは、同じことなと思ひました。もしかすると、同じことになつたので、思ひました。



準備や片付けのお手伝いありがとうございました。新築小の子どものために、教師がパネルを取り寄せたのですが、結果的に、子ども達が自分で開いたパネル展のようでした。

6年生の感想。パネルの内容と運営等に関して、それぞれの想いを素直に綴っています。